

水温は「やや高め」で推移 (令和3年2月の海況と今後の予測)

令和3年2月12日
茨城県水産試験場

1 海洋観測結果 (2/3, 5: 調査船「いばらき丸」)

- ・水温の平面図を図2, 3, 4に, 鉛直図を図5に示しました。
- ・荒天の影響により会瀬定線と大洗定線の142° Eの地点, 鹿島定線の140° 45' Eと141° E及び142° Eの地点, 犬吠埼定線の全地点が欠測となりました。
- ・水温は0m深で14~16°C台, 50m深で15~16°C台, 100m深で11~16°C台, 200m深で9~11°C台でした (図2)。
- ・前月と比較すると, 0m~100m深の北部で昇温傾向となりました (図3)。
- ・平年と比較すると, 0m深では「やや高め~高め」, 50m深では「やや高め~高め」, 100m深では「平年並~高め」, 200m深では「平年並~やや高め」となりました (図4)。
- ・会瀬~大洗定線にかけての141° 45' Eで真潮傾向が, 141° E~141° 30' Eで逆潮傾向が観測されました。

2 本県周辺海面水温の現況 (図1)

- ・NOAA衛星画像の表面水温図によると本県海域は14~20°Cとなっています。
- ・断続的な暖水波及により, 本県海域は黒潮からの暖水に覆われています。
- ・黒潮の北限はかなり北偏しており, 38° N付近まで達しています。
- ・黒潮は犬吠埼の南東25マイルを北東に, 鹿島沖で北北東に進路を変えて流れています。
- ・親潮第一分枝は本県沿岸から遠く, 三陸沖に位置しています。

3 今後1か月の見通し

- ・暖水波及は今後も断続的に発生する見通しです。
- ・黒潮が北偏している影響で10°C以下の冷水は南下しづらいでしょう。
- ・親潮第一分枝はほとんど南下しない見込みです。
- ・1か月後の水温は, 「やや高め」となるでしょう。

(参考) 3月の表層水温 (東経142度まで) の30年平均 (1991-2020)

会瀬: 10~11°C台 大洗: 10~13°C台 鹿島: 10~13°C台 犬吠埼: 11~16°C台

詳しい情報は茨城県水産試験場ホームページをご覧ください。

(回遊性資源部 大森 健康)

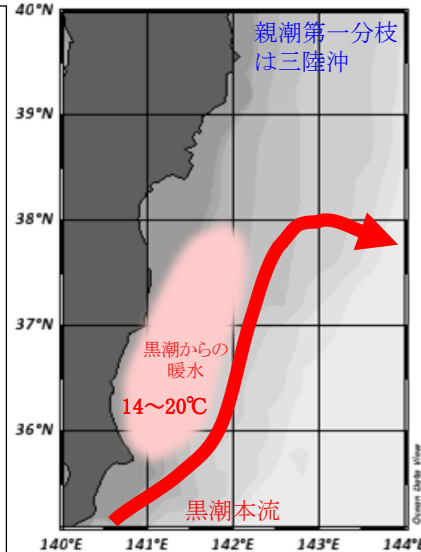


図1. 海面水温の現況
(2月11日)

※水温は平年値と比較して,
±1.5°Cが「平年並」,
±1.6~3.9°Cが「やや高め・やや低め」
±4.0~6.0°Cが「高め・低め」
±6.1°C以上が「極めて高め・極めて低め」

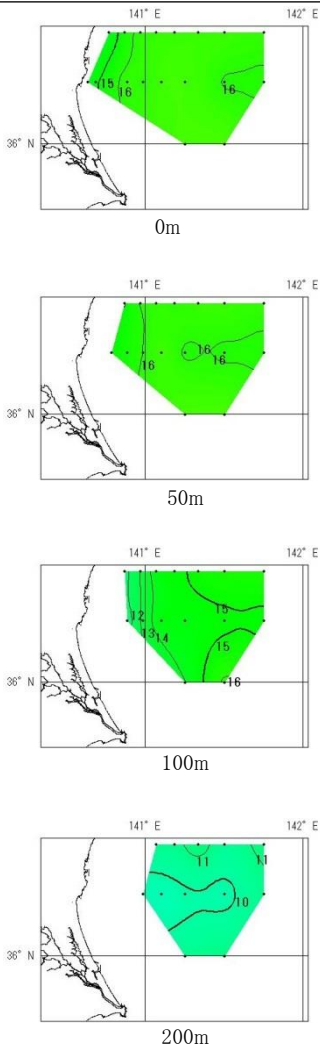


図2. 層別水温

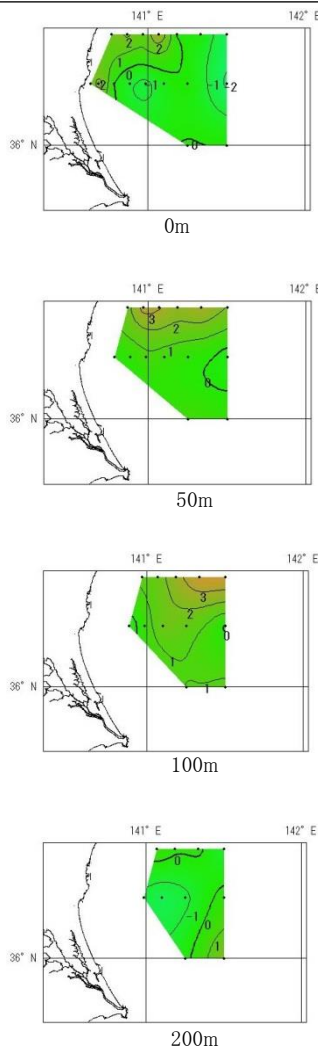


図3. 層別水温前年差

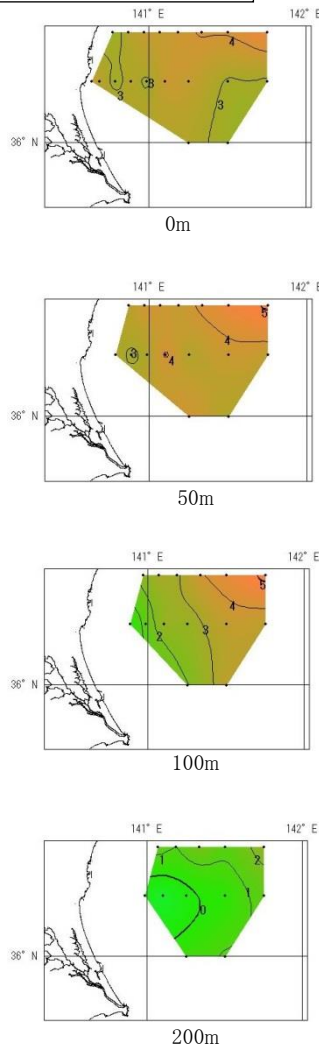


図4. 層別水温平年差

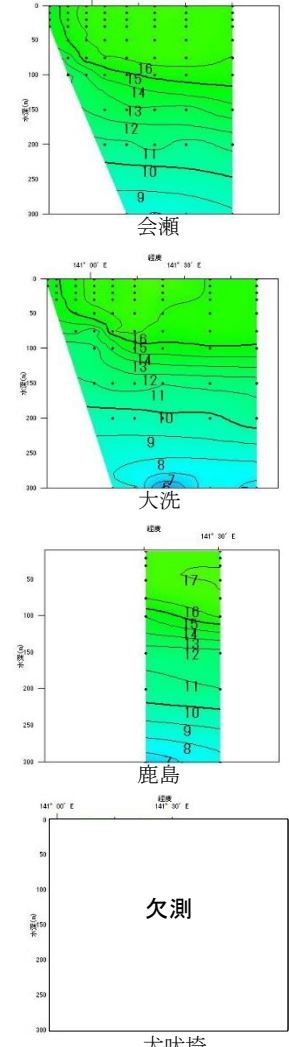


図5. 鉛直水温